

(財) ミズノスポーツ振興会 2007(平成19) 年度事業報告

2007(平成19) 年度も昨年改定された文部科学省スポーツ振興基本計画に示された各施策に対し引き続き取り組みを行うとともに、(財) 日本体育協会を始め、第63回国民体育大会及び学校体育の各団体、並びに野球関係団体に対して応分の対応をしました。そして、スポーツに関する科学的・学術的・医学的研究助成事業についても継続するとともに文部科学省主催の「生涯スポーツコンベンション」「スポーツコーチサミット」の発展に引き続き協力しました。さらに、継続自主事業の「ミズノスポーツメントール賞」「ミズノスポーツライター賞」に対し助成を行いました。

2007(平成19) 年度の事業報告は次の通りです。

1. 競技スポーツ、国民スポーツに関する普及振興並びに強化に対する助成 1,200万円
 - (1) (財) 日本体育協会に対する助成 (1,200万円)
(国体推進事業協力、日本スポーツ少年団全国大会協賛及び情報システムの充実提供費等含む)
2. 国民体育大会に関する振興助成 2,450万円
 - (1) 第63回国民体育大会 (1,550万円)
 - 冬 スケート・アイスホッケー 長野県 《400万円》
 - 冬 スキー 長野県 《400万円》
 - 夏・秋 大分県 《750万円》
 - (2) ブロック別総合体育大会に対する助成 (700万円)
 - (3) 日本スポーツマスターズ2007(滋賀県) に対する助成 (200万円)
3. 学校体育、社会体育に関する研究助成 600万円
 - (1) (財) 日本中学校体育連盟に対する助成 (150万円)
 - (2) (財) 全国高等学校体育連盟に対する助成 (150万円)
 - (3) (社) 日本女子体育連盟に対する助成 (150万円)
 - (4) (社) 全国体育指導委員連合に対する助成 (150万円)
4. スポーツに関する科学的・学術的・医学的研究助成 1,647万円
 - (1) スポーツ学、スポーツ医・科学等の研究助成 (1,197万円)
 - (イ) 準高地における高地トレーニング合宿期間中の生理反応の変化 (東京大学大学院総合文化研究科 禰屋光男) 《100万円》
 - (ロ) 徳島県の伝統的「阿波踊り」の教材化とその指導法に関する研究 - 発展段階に応じた指導と伝統文化への理解及び他教材との関連に着目して - (徳島大学総合科学部 中村久子) 《100万円》
 - (ハ) 運動実践がもたらすメタボリックシンドローム構成因子の改善：加齢を考慮した検討 (筑波大学大学院人間総合科学研究科 中田由夫) 《100万円》
 - (ニ) スポーツにおける集団凝集性の構造検証ならびにパフォーマンスとの関係 (福岡大学 織田憲嗣) 《99.5万円》
 - (ホ) 没入型ヴァーチャルリアリティ環境下で構築したスポーツ場面における認知活動 (神奈川工科大学ヒューマンメディア研究センター 井田博史) 《97.7万円》
 - (ヘ) 機能的電気刺激法を用いた高齢者転倒防止予防トレーニングの開発

- (トロント大学 政二 慶) 《100万円》
- (ト) 叡知の身体技法～忍術における身体のヴィジョンを探る～
(札幌大学 瀧元誠樹) 《99.8万円》
- (チ) 認知機能改善に着目した運動プログラムの開発に関する研究
(筑波大学大学院人間総合科学研究科 紙上敬太)
《100万円》
- (リ) 従来の問題点を克服した新しいMRイメージングによる
”筋活動のmapping”
(武蔵野大学体育センター 衣笠竜太)
《100万円》
- (ヌ) 股関節の活性化をねらったドリルが歩・走行動作に及ぼす影響
(佐賀大学文化教育学部 原田奈名子)
《100万円》
- (ル) 全身の運動方程式に基づく高速スポーツ動作の動力学的分析
(筑波大学大学院人間総合科学研究科 小池関也)
《100万円》
- (ヲ) 硬式野球用ヘルメットの衝撃緩和性能向上に関する研究
(法政大学工学部機械工学科 新井和吉)
《100万円》
- (2) 国立スポーツ科学センターにおける医科学研究助成 (150万円)
- (3) (財) 日本アンチ・ドーピング機構運営に対する助成 (300万円)
5. 地域スポーツ普及振興に対する助成 1,000万円
- (1) 総合型地域スポーツクラブ育成、普及に対する助成 (700万円)
- (イ) 平成19年度全国総合型
地域スポーツクラブマネジャー研修会
《200万円》
- (ロ) 総合型地域スポーツクラブ
育成、普及 (財) 日本体育協会事業助成
《250万円》
- (ハ) (財) 日本スポーツクラブ協会
事業助成 《250万円》
- (2) へき地学校及び遠隔地体育・スポーツ大学のスポーツ振興
- (イ) (財) ベルマーク教育助成財団 《150万円》
- (ロ) 国立大学法人
鹿屋体育大学ミズノ奨学金 《150万円》
6. 野球に関する普及振興並びに研究助成 1,200万円
- (1) アマチュア野球に対する助成 (150万円)
- (イ) 全日本アマチュア野球連盟 《150万円》
- (2) 社会人野球に対する助成 (150万円)
- (イ) (財) 日本野球連盟 《150万円》
- (3) 学生野球に対する助成 (450万円)
- (イ) (財) 全日本大学野球連盟 《150万円》
- (ロ) (財) 日本高等学校野球連盟 《150万円》
- (ハ) (財) 日本学生野球協会 《150万円》
- (4) 少年野球に対する助成 (150万円)
- (イ) 全日本少年野球振興会 《150万円》
- (5) 特定非営利活動法人
アオダモ資源育成の会に対する助成 (150万円)
- (6) 地域生涯スポーツに対する助成 (150万円)
- (イ) 特定非営利活動法人
日本ティーボール協会 《150万円》
7. ジュニア育成に対する助成 550万円
- (1) (財) 日本ゴルフ協会 (300万円)
- (2) (財) 日本テニス協会 (150万円)

(3) 特定非営利活動法人 柔道教育ソリダリティー	(100万円)
8. ウォーキングの普及振興に対する助成	150万円
(1) (社) 日本ウォーキング協会	(150万円)
9. ラジオ体操の普及振興に対する助成	100万円
(1) 全国ラジオ体操連盟	(100万円)
10. スポーツ競技と運営に係わる紛争の仲裁事業への協力	150万円
(1) 日本スポーツ仲裁機構	(150万円)
11. 国民スポーツ普及振興助成	150万円
(1) 「体育の日 中央大会」に協賛	(150万円)
12. 生涯スポーツコンベンションへの開催協力	300万円
13. スポーツコーチサミットへの開催協力	450万円
14. 財団自主事業	6,289万円
(1) 2007年ミズノスポーツメントール賞、同ライター賞	(2,144万円)
(2) ミズノスポーツ財団資料館管理	(145万円)
(3) 記念事業積立金	(4,000万円)
15. 記念品、資料収集	0万円
16. 予備費	
(1) 清川文庫移設費	45万円
合 計	16,281万円